



# タコノキ

学名 Pandanus boninensis  
 科名 タコノキ  
 別名  
 区分 まちかど しょくぶつ 街角の植物  
 分布 おがさわらしょとう こゆうしゅ 小笠原諸島の固有種

説  
明

沖繩おきなわによく自生じせいしているアダンの親戚しんせきですが、小笠原おがさわらしょとう諸島の固有種こゆうしゅです。雌雄異種しゆういしゅの小高木しょうこうぼくで、葉は乾燥かんそうに強いやや肉厚にくあつの刀剣状とうけんじょうで、まさに鋸のこぎりのような鋸歯きよしがついています。気根きこんを出し、根元ねもとは沢山たくさんのつかい棒ぼうで支えているように見えます。初夏みに黄白色しょうかの雄花おうはくしよく、淡緑たんりょくしよく色の雌花めばなをつけ、夏なつに数十個すうじゅうこの果実かじつが固まったかたパイナップル状じょうの集合果しゅうごうかをつけます。

葉の形

葉の縁 きよし鋸歯

葉の先

葉の種類

葉の付方

葉の基部

実の種類

しゅうごうか集合果

花・萼色

おばな おうはくしよく、めばな たんりょくしよく雄花は黄白色、雌花は淡緑色